

近世俳諧の玉手箱

本のたどった数奇な運命



京都府立京都学・歴史館 京の記憶アーカイブ から

2023年 11月25日 (土)

14時00分～15時30分 (13時30分受付開始)

京都府立京都学・歴史館 1階 小ホール

[料金] 無料

[定員] 80名 (先着順)

[主催] 京都府立京都学・歴史館指定管理者「コングレ・日本管財・丸善雄松堂共同事業体」

[共催] 京都府立京都学・歴史館

明治から昭和戦前期にかけて、俳人・俳諧研究家として活躍した伊藤松宇は、連歌俳諧書的一大コレクターでもあったが、昭和二十年の東京大空襲による被害は大きく、その一部は焼失したと考えられていた。ところが、近年京都府立総合資料館（現京都学・歴史館）に寄贈された書籍を調査したところ、それらが行方のわからなくなっていた松宇のコレクションの一部であることが分かった。

貴重な資料はいかにして戦火を免れたのか。日本で最初に出版された俳諧撰集『狗獮集（犬子集）』、井原西鶴の『大句数』や『俳諧師手鑑』といった、いくつかの作品を取り上げながら、その魅力にも迫ってみたい。

[講師]

母利 司朗 (もり しろう)

1956年、兵庫県生まれ。京都府立大学名誉教授。博士（文学）。

俳文学会常任委員。和食文化学会常任理事。

主な編著書に『俳諧史の曙』（清文堂出版、2007年、平成20年度文部科学大臣賞）

『近世俳諧の玉手箱』（臨川書店、2022年）『和食文芸入門』（臨川書店、2020年）などがある。

永井 一彰 (ながい かずあき)

1949年、岐阜県生まれ。奈良大学名誉教授。博士（文学）。近世版木研究の第一人者。

主な編著書に『月並発句合の研究』（2013年、笠間書院、平成26年度文部科学大臣賞受賞）

『板木は語る』（2014年、笠間書院、平成26年度日本出版学会賞受賞）

『俳諧短冊手鑑』（2015年、八木書店）『板木の諸相』（2021年、青裳堂書店）などがある。

河村 瑛子 (かわむら えいこ)

1986年、愛知県生まれ。

京都大学准教授。博士（文学）。専門は日本近世文学。

主な著書に『古俳諧研究』（和泉書院、2023年）母利司朗編『近世俳諧の玉手箱』（共著。臨川書店、2022年）

京都大学和漢聯句研究会編『曼殊院蔵和漢聯句作品集』（共著。臨川書店、2022年）などがある。

申込方法

以下の方法でお申し込みいただけます。

①右QRコードの申込専用フォーム

②お電話(075-723-4831) ※休館日除く



お申し込みの際、次の内容をお伝えください。

1. 代表者氏名
2. 電話番号
3. 参加人数

定員に達し次第受付終了

京都府立 京都学・歴史館
Kyoto Institute, Library and Archives

〒606-0823 京都府京都市左京区下鴨半木町1-29

☎ 075-723-4831 (代表)

● Information

開館時間：[平日] 9:00～21:00 [土日] 9:00～17:00

休館日：毎月第2水曜日、祝日、蔵書整理期間

年末年始（12月28日～1月4日）

駐車場／31台(有料)

駐輪場／敷地内(下鴨中通側)に

複数台分無料駐輪場がございます。

● Access

一電車

京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車(①出口)

南へ徒歩約4分

一バス

京都市バス1系統、204系統、206系統

「府立大学前」(北大路通)下車北へ徒歩約6分



京都府立京都学・歴史館
ホームページ

<https://reksaikan.jp/>

